

令和4年度

# 子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業

開催  
レポート

令和4年9月23日(金・祝)、留萌管内PTA 連合会研究大会、留萌管内PTA 母親研修会、小平町PTA 連合会研究大会と共催で、「子どもの望ましい生活習慣・学習習慣定着研修事業」を実施しました。

PTAの皆様を中心に、個人端末や各学校会場でご参加いただき、200名の方々に申込みいただきました。本事業は、子どもの望ましい生活習慣や学習習慣の定着に向けた取組を促進するとともに、PTA研究大会の主題である『北の大地に根ざした人間性豊かな子どもを育てよう』の趣旨のもと実施しております。

講演:『あきらめない「強い心」をもつために』

講師:池江 美由紀 氏(競泳・池江璃花子選手の母)

東京経営単位大学こども教育学科特別講師/EQWEL チャイルドアカデミー本八幡教室代表

池江氏から、「強い心」をもつために大切なことを3点お話しいただきました。

【池江 美由紀 氏】

## 1 自分を信じること

人にはほとんど使われていない潜在能力があり、スイッチひとつで引き出すことができる。周囲の大人は、子どものもっている才能を信じ、「あなたならできる!」「あなたには能力がある!」等という声かけを続けることで、自分を信じる力をつけさせることができるとお話しされました。

## 2 人間力を育てること

人間力には、道徳心、人の役に立つ、素直さなど多数あると考えているが、社会のルールや約束事ができなかったときに、しっかり叱ることが大切。また叱る際には、誤った行動についてカミナリのように短く強く叱った後、「あなたは大切な存在だ」とスキンシップをとるなどして、行動と人格をわけることを大切にしている。また、小学生クラスの教室のルールを①あいさつ②プラスの言葉③時間をまもることとし、ルールは子どもたちに徹底するとともに、大人自身も子どもに言ったことを曲げない、自分に対する厳しさが必要とお話しされました。

## 3 本番力をつけること

みんなの前でもリラックスした状態で自分の力を発揮させるためには、成功のイメージをつけてあげることが大切。アスリートは当たり前に行っているイメージトレーニングを取り入れると良いと話されました。講演では、穏やかな音楽を流しながら、池江氏の声かけにより参加者は目をつむり、イメージトレーニングの体験をしました。



## 分科会提言

### <第1分科会> 遠別町立遠別町・中学校 PTA 「組織・運営・地域連携」

コロナ禍でPTA活動が制限されたことから、学校運営協議会(CS)との連携を進めており、地学協働の取組として、遠別町生涯学習まちづくり人材バンクの活用について紹介がありました。

### <第2分科会> 初山別村 PTA 「学校教育・家庭教育」

子どもの学びへの意欲を育てる家庭教育の在り方についての村内アンケート結果が示され、家庭教育の環境づくりが子どもの規範意識や自尊意識の育成につながっている成果とともに、子どもがインターネットやゲームの時間を決めて守ることへの課題があげられました。

### <第3分科会> 天塩町 PTA 「健康・食育」

コロナ禍で実施されたスポーツレクや料理教室などの健康・食育に関する取組が紹介され、持続可能な活動のあり方について検討する機会となったという成果とともに、課題として教員・保護者の負担軽減があげられました。

### <第4分科会> 北海道天売高等学校 PTA 「高校教育」

水産クラブ研究校内発表会の実施、ボランティア活動、島内事業への参加等の関係機関や家庭との連携や、教育課程内の地域連携など、幅広い連携について事例提供されました。

情報提供:「望ましい生活習慣と学習習慣の定着に向けて」

北海道教育庁留萌教育局教育支援課義務教育指導班・社会教育指導班

社教班

- PTAとコミュニティ・スクールとの連携
- PTAの意義と活動の工夫
- ネット利用時間のコントロールを含めた生活習慣の定着(ネット利用時間と学力の関係)

義務班

- 子どもたちの生活習慣、学習習慣についての現状と課題
- 時間の目安を決めて子どもの生活リズムを整える

資料はこちらからご覧いただけます。(留萌教育局HP)



## 参加者からの感想

- 子どもの自尊心を高めること、そのための褒めることの大切さを学ぶことができました。また、してはいけないことを強く指導すること、それを伝えるための主導権の大切さも実感できました。
- 親として子にできること、見本となる行動をとっていかなくてはと考えさせられました。仕事現場でも活用していきます。